

大学・企業連携による ICT 導入・活用事例紹介

日時：9月4日（水）12:30～17:00 / 9月5日（木）10:00～17:30 会場：5F 廊下

ポスターセッション形式による、大学・企業共同の ICT 導入・活用事例の紹介です。ご自由にご覧下さい。

| No | 導入事例 | 大学 | 企業 |
|-----|--|----------------------|-----------------------------------|
| 1 | グローバル人材の育成と地域の発展を目指す、共愛グローバルプロジェクト～ICT活用による効果的な『学生サポートとは』～ | 共愛学園前橋国際大学 | 株式会社内田洋行 |
| 2 | 820 台のゼロクライアントと高速動作が可能な VDI 環境で 1 分以内のドメインログオンと保守性向上を実現 | 学校法人東洋大学 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 |
| 3 | 『大阪体育大学における提出物の管理とその活用』～ドキュメントスキャナーと「Grow One e ポートフォリオ」を使用して～ | 大阪体育大学 | 株式会社ニッセイコム |
| 4 | 教育支援システム「manaba」の全学導入～立命館大学～授業理解を深めるための動画配信と学習支援ツール～昭和薬科大学～ | 立命館大学 昭和薬科大学 | 株式会社朝日ネット |
| 5 | 映像コンテンツ管理・配信システム～OPSIGATE～ | 中央大学 | 電子システム株式会社 |
| 6,7 | 授業支援システム「IT's class.」の導入から活用まで | 学校法人文理佐藤学園 西武文理大学 | 日立公共システムエンジニアリング株式会社 日立製作所株式会社 |
| 8 | モバイルによる情報利活用の変革 | 北里大学 | 富士ゼロックス株式会社 |
| 9 | システムオペレーションによる遅延のない、事前・事後学習との連携を強化した学習環境を整備 | 青山学院大学 | チエル株式会社 |

●各大学と企業の配置 5F

窓（壕側）

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|----------------|--------------------|--------|-----------------|-----------------|--------|----------------------|---------|--------|
| 共愛学園 前橋国際大学 | 東洋大学 | 大阪体育大学 | 立命館大学 昭和薬科大学 | 中央大学 | 西武文理大学 | | 北里大学 | 青山学院大学 |
| 内田洋行 | 伊藤忠テクノ ソリューションズ | ニッセイコム | 朝日ネット | 電子システム | 日立製作所 | 日立公共システム エンジニアリング | 富士ゼロックス | チエル |
| ← 受付、エレベータ | | | | 廊下 | | | | |
| | | | | (テーマ別自由討議/発表会場) | | | | |

●事例の概要紹介（討議・発表会場でのプレゼンテーション）スケジュール

テーマ別自由討議や発表会場にて、昼休憩の前に、各事例の概要紹介を行いますので、ぜひご覧下さい。

※都合によりスケジュールが変更になる場合があります。

| 9月4日（水） | | | 9月4日（木） | | | |
|---------|---------|------------|---------|----------|----------|------------|
| | 5F 大雪 | 5F 穂高西 | | 5F 穂高東 | 5F 穂高西 | 5F 大雪東 |
| | 分科会 A | 分科会 B | | 発表グループ A | 発表グループ B | 発表グループ C |
| 12:30 | 内田洋行 | 日立公共/日立製作所 | 11:50 | 朝日ネット | 伊藤忠 | 日立公共/日立製作所 |
| 12:33 | 伊藤忠 | 朝日ネット | 11:53 | 内田洋行 | チエル | |
| 12:36 | チエル | 電子システム | 11:56 | 電子システム | 富士ゼロックス | |
| 12:39 | 富士ゼロックス | | | | | |

●事例内容

No.1 グローバル人材の育成と地域の発展を目指す、共愛グローバルプロジェクト

～ICT活用による効果的な『学生サポートとは』～

共愛学園前橋国際大学/株式会社内田洋行

「地域との共生」、「学生中心主義」を掲げる共愛学園前橋国際大学は、グローバル人材を育成する多彩なカリキュラムを展開しています。

- ・オンライン英会話と e-Learning を組み合わせた副専攻科目の実施、
- ・遠隔コミュニケーションシステムを用いた顔と顔が見える留学支援、
- ・アクティブラーニング環境におけるクリッカを用いた双方向授業と収録、
- ・地元企業との連携によるインターンシップ(海外研修)の実践
- ・『ユビキタスキャンパス共生構想(キャンパス全域が学びの場)』に基づく全学生へのタブレット配布など。

2012年グローバル人材育成推進事業に採択された、『次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー育成』の取組みにおける ICT 活用をご紹介します。

No.2 820 台のゼロクライアントと高速動作が可能な VDI 環境で 1 分以内のドメインログオンと保守性向上を実現

学校法人東洋大学 / 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

東洋大学では、PC 教室と図書館の計 820 台のクライアント端末をゼロクライアント/VDI 環境で構築した。それまでは、授業ごとに大勢の学生が一斉にドメインへのログオン/ログオフをするので、授業が始められるまでに 15 分もかかることがあった。

そこで CTC では、サーバ、ストレージ、仮想の 3 つの統合基盤で VDI 環境を構築、豊富な構築・運用実績を基にした機器の最適なサ

イジングと、高速化チューニング手法を組み合わせるにより、クライアント端末のドメインログオンから実際に利用できるまで、1分以内という高速化を実現した。また、ゼロクライアントにより障害発生率も低下、省電力化や管理負荷の削減にも貢献している。

No. 3 『大阪体育大学における提出物の管理とその活用』 ～ドキュメントスキャナーと「Grow One e ポートフォリオ」を使用して～

大阪体育大学／株式会社ニッセイコム

大阪体育大学では、その他多くの大学・教育機関と同様に、学生の授業レポートやアンケートに大量の紙を用いています。しかし、その量ゆえに、その管理には非常に大きな労力が掛っていました。

この問題点を解決するため、同大学では高速ドキュメントスキャナーと「GrowOne e ポートフォリオ」を有機的に組み合わせたシステムを導入しました。これにより、紙資料の管理コストの削減以上の効果を得ることができました。

今回は、本システム導入までの経緯や導入後の運用、今後の活用計画などについてご紹介いたします。

<主な導入効果>

- ・ 現行授業方法の維持
- ・ 提出物を回収・採点・返却する労力の削減
- ・ 提出物の紛失トラブル防止
- ・ 成績を管理する労力の削減

No. 4 教育支援システム「manaba」の全学導入 ～立命館大学～ 授業理解を深めるための動画配信と学習支援ツール ～昭和薬科大学～

立命館大学／昭和薬科大学／株式会社朝日ネット

立命館大学では授業支援システムとして「manaba」を全学部・研究科 約4万名を対象に導入しました。教員・学生にとって利用しやすいインターフェース、最低限の授業を支援する機能、サポート対応や改善要望に対しての早急なレスポンスにより、これまで以上の活用が期待されます。

「manaba」は授業支援ツールとして一般的な課題出題や成績評価、教材の提示、教員・学生間のコミュニケーションに加えて、グループ学習やPBLなど学生の協同学習を支援する機能も活用することにより、多種多様な授業を支援することができます。

また、大学生活を通じて学んだ履歴がポートフォリオへ蓄積していくことで、学生は自身の学びの過程を可視化することができます。今後は簡単で誰でも利用できるという点を活かし授業内外での活用シーンを拡大していくことにより、大学全体での活用率を向上させ、学生の主体的な学びの実現を目指します。

昭和薬科大学では、2013年度より「manaba course」を全学導入しています。2012年度まで別のLMSを利用し、授業動画の配信を中心に活用していましたが、サーバが学内管理であり、安定した稼働をさせる点に負担があったため、「クラウドで安定した稼働」ができるLMSとして「manaba course」の採用に至りました。

これまでも映像配信技術に特化した「mediasite」の機能を利用し、映像配信を行っていましたが、「manaba course」の導入に伴い、シンプルなLMSであるmanaba courseとも連動させることで、学生・教員に負担なく、従来と同様の形式で動画を配信しています。

今後は更なる学内への浸透を進め、映像配信だけでなく学生・教職員がより研究・学習・実習に集中できるための支援ツールとして活用範囲を広げていく予定です。

No. 5 映像コンテンツ管理・配信システム～OPSGATE～ 中央大学／電子システム株式会社

これまで中央大学は、コンテンツの管理を積極的に行わず教員や学生に委ねてきた。しかもコンテンツ作成環境は千差万別で、これを統一することは難しい。そこで、いくつかのそれぞれ特徴のある仕組みを連携することで、デジタルコンテンツの機能を実現する方向で検討を進めている。コンテンツ管理配信システム「OPSGATE」は、コンテンツの収録から配信までトータルサポートするコンテンツ活用プラットフォームです。

No. 6, 7 授業支援システム「IT's class.」の導入から活用まで 学校法人文理佐藤学園 西武文理大学／日立公共システムエンジニアリング株式会社／日立製作所株式会社

西武文理大学は1999（平成11）年に、サービスの原点である「ホスピタリティ」を経営や経済という視点で捉え、総合教育・キャリア教育や専門教育を行うサービス経営学部を擁する単科大学として開学しました。さらに2009（平成21）年には看護学部も開設しています。

当初はコンピューターシステムの利用状況が芳しくなかったことから、教員が利便性を実感できるシステムの検討を行い、2002（平成14）年に大学向け授業支援システム「IT's class.」の利用を開始しました。現在は、当初の目的であった教員の効率向上だけでなく、一人ひとりにあったきめ細やかな学習の提供や、学生の学習効率向上にも役立っています。

No. 8 モバイルによる情報利活用の変革 北里大学／富士ゼロックス株式会社

北里大学は、健全な財政運営の実現に向けて業務効率化とコスト削減を推進しています。その一環として法人・大学におけるタブレットを用いたペーパーレス会議システムを導入しました。従来は各部門からの資料収集・並び替え・ページナンバー付与・印刷と、職員4人がかりで資料準備を行っていました。また、会議後には書架への保管と検索・問い合わせ対応など大きな労働コストがかかっていました。そこで、情報整理や保管を行なうソフトウェアや情報閲覧のためのタブレットを導入し、事務職員の作業負荷を75%軽減するとともに、印刷経費の削減を実現しました。ユーザーの教職員も、タブレット上に書き込みしたものを自室のPCから閲覧することもできます。北里大学様は、学生と教員がもっと連携し、さらにコミュニケーションを活性化させるべく、このタブレットシステムをLMSと連携することによって、クリエイティブな人材の育成を推進していかれる予定です。

No. 9 システムオペレーションによる遅延のない、事前・事後学習との連携を強化した学習環境を整備 青山学院大学／チエル株式会社

青山学院大学では、2013年に教育研究系システムを刷新、外国語学習環境をさらに充実させ、2014年度から本格稼働した。CALLシステムとの連携を強化させ、授業効率や授業の事前・事後学習との結びつきを強化。同大学オリジナルの良質なeラーニング教材の制作と提供を行い、学外からの利用を可能にさせて利用率がアップした。

システムを利用する教員からは「事前にアップロードした教材をCALLシステムでそのまま利用できるため、準備が容易になり、授業もスムーズになるため積極的に利用している」、「出席や課題に対する結果も一括で管理できるのが良い」といった声があった。また、学生からは「授業で使用した教材や課題がそのまま利用でき、時間・場所に依存しない環境のため自宅での学習時間が非常に増えた」と、自習学習の増加につながっているという声が聞かれた。